



NO.

# いちよう

発行所

待乳山 本龍院

〒111 東京都台東区浅草7-4-1

-0032 TEL. 03(3874)2030

FAX. 03(3874)5280

謹賀新年

新年を迎えるにあたり

住職 平田真純

聖天様といえは大根、大根を供えて無病息災・心身健全、と、昨今はより広く世に浸透しつつあるように感じます。

大根は、体内の毒素を中和して消化を助けるはたらきがあることから、聖天様にお供えすることによって、私たちの心身の健康を促していただけるとされます。

実際、真っ白な大根をお供えて、至心に手を合わせれば、何か清々しい気持ち、さっぱりした気持ちになるのではないのでしょうか。気持ちという点では大根に限らず、神仏への有形無形の供養はすべて同じです。それらの気持ちは、自分の汚れた心が知らず知らずのうちに修正されていることを表していると思います。そこからあらためて、あらゆる困難に立ち向かえる心と体力が醸成されていくことでしょう。

聖天様の功德を信じ、大根の功德を信じ、一心に祈ることが大切です。半信半疑ほど弱いものはありませ



ん。また、なまじ理屈や知識に走ると、心は増長しやすいものです。自己中心を捨てるからこそ神仏の功德がいただけるのでしよう。

令和三年の大根まつりは残念ながら中止となり、また状況にもよりますが、

外出が難しく、お正月の初詣で大根をお供えできない方もいらつしやることでしょう。しかし寺のほうでは毎日欠かさず丁寧な供養をさせていただいており、また気を配りながらも参拝に来られた方々の一本一本の大根は、広く皆様の心を代表しての一本であり、感謝しつつ、どうぞご安心して、ご自宅で手を合わせてください。

## 正月のご縁日大法要・行事紹介

### 初詣

元旦は、午前〇時に半鐘の合図で本堂を開堂いたします。また午前二時から今年最初の浴油祈禱を厳修いたします。

元日からの浴油祈禱のお申込みは午前一時半までにご利用いたします。また、お正月期間限定の吉例の巾着守をお授けします。

### 三が日感染対策について

元旦の開堂時間につきましては、例年通りとなりますが、新型コロナウイルスの感染対策といたしまして、左記の注意事項をご確認の上、ご参拝ください。

今年の大根まつりは中止となります。同日に国難消除祈願法要を執り行います。

本堂参詣にお並びの方には、間隔をあけてお並びいただけます。また、状況に応じて職員、僧侶より移動や消毒のお願いをする場合がございますので、ご協力をお願いいたします。

皆様ご安心してお詣りしていただくため、境内では建物の外でもマスクを着用して下さい。

恒例のお屠蘇接待は中止となります。

額堂前の密集を防ぐため水屋は中止します。

接触感染を防ぐため本堂前開口紐は一時的に外します。

本堂内のおみくじは中止します。額堂向かいのおみくじをご利用ください。

御朱印は引き続き書置きのみとなります。例年通り七日までは額堂にてお授けいたします。

本堂内の混雑回避の為、七日までは御祈禱以外のお守りのお求めは、なるべく本堂手前の外札場でお願いたします。

三が日は本堂内でのお勤めはできません。

ご祈禱のお申込みで寺務所が混雑する可能性がございます。メールフォームにて事前にお申込みされますと、スムーズに受付が出来ますのでご利用ください。

### 正月特別祈禱

元日 十一時

新年の開運を祈願致します。

今年は事前申し込みの方に限定いたしました。元日の十一時から一座のみ、僧侶のみで執り行います。感染対策の為、御祈禱中の本堂内での参拝はできません。お申込みの信徒の皆様は、ライブ配信でお参りください。

祈禱料 三、〇〇〇円

### 毘沙門天特別拝観

普段本堂の奥でおまつりしております浅草名所七福神の毘沙門天様を、内陣左手手前の仮座におまつりします。二十日までは仮座におまつりしておりますのでご参拝できます。

### 国難消除祈願法要

一月七日(木) 午前十一時

毎年一月七日には恒例の大根まつりが盛大に執り行われますが、すでにお知らせの通り新型コロナウイルスの影響で今年は残念ながら中止といたしました。

そこで国難消除、疫病早期収束、また皆様の身体健康を祈念する法要を、本来大根まつりがおこなわれる一月七日に執り行うことにいたしました。

他法要と同様、御信徒の皆様参加はライブ中継のみとなります。

### 百味講

一月二十日(水) 午前十一時

講金一、五〇〇円(籠供物二、五〇〇円)

聖天様に日頃の感謝をお伝えする百味講法要を行います。

百味講では、御宝前に灯明や香華の他に、野菜や果物、菓子といった多くの味覚をお供えし、僧侶が声明を唱える中、導師が聖天様を供養いたします。

今年の百味講は残念ながら御信徒の方のご参加はできませんが、ライブ中継にてご参加いただければと思います。

法要後にお申し込みをされた皆様にご宝前にお供えしたお供物をお授けいたします。

また、数量限定でご希望の方には色鮮やかな和菓子の入った籠供物をお授けしております。ご希望の方はお申し込みの際にお伝え下さい。

# 大根まつり歴史

新春恒例大根まつりはコロナウイルスの影響により残念ながら中止となりました。

大根まつりの歴史上、『中止』となるのは初ですが歴史を振り返ると『自粛』となった年がありましたのでご紹介いたします。

始まりは昭和四八年世話人有志による発案、総代の承認のもと『大般若講大根まつり』という名称が決まり、翌四九年の一月七日に開催されました。

開催当初は「風呂吹き大根」を400食用意。当時は周知されておらず、当山信徒様の集まりでありました。翌年五十年にはテレビ取材、新聞掲載の効果もあつてか500食が早い時間に品切れになりました。

昭和五四年、バス団体等の関係で1000食を用意し、土産用袋入りの大根もこの頃から始まりました。

昭和五八年、この頃から世間に周知されてきた為か、早朝から来山者が列をなし法要後に食べられない方が多く出てしまう問題が起き、翌年以降法要後に配るよう改善。

昭和六一年より1200食に増やし、加えて樽酒からのお神酒接待が始まりました。

そして、昭和六四年1350食を用意し恒例行事として行う予定でしたが当日の朝六時頃、天皇陛下が崩御されました。直ちに用意してあつた紅白幕を撤去し、南門に半旗をささげました。そして予定通り十一時より大般若法要が厳粛に行われ、風呂吹き大根の接待も粛々と行いました。

元号も平成に変わり、1500食を用意し、平成終わり頃には2000食越えを用意、令和二年現在では2300食となりました。

当院年中行事において一番人出が多く、活気ある境内になる日が大根まつりだと思えます。また皆様の笑顔であふれる大根まつりが再開されることを従業員一同心よりお祈りしております。



昭和五十年代の大根まつり賑わいの様子

## 諸行事再開にあたって

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止ならびに自粛してまいりました諸行事を9月より再開致しました。すでにご存じの信徒様も多いかと思われませんが、参加方法、注意点を改めてご案内致します。

### 朝まいり会・写経の会

朝まいり会、写経の会は予約制となっております。朝まいり会は毎月一日から七日の中からお一人一日のみ参加できます。定員は一日十名です。写経の会は十一月より第二日曜日とその前日の土曜日の計二日、それぞれ定員二十八名の午前十時の会のみ開催です。

朝まいり会、写経の会の予約は専用電話番号にてご本人のみ受付いたします。

#### 毎月十五日より翌月分受付

予約電話番号 080-7419-1297

朝まいり会はライブ配信がございますので、ご利用ください。

### 諸講、合同大般若法要

当面の間、当山僧侶のみで執り行ないます。ライブ配信がございますので、ご利用ください。

お申込み頂いたお札、お供物等は法要終了後受け取り可能です。

### 日曜勤行、坐禅の会

当面の間、中止とさせていただきます。



法要



朝まいり会

# 一月行事予定



## 初詣

元旦(金・祝)

午前〇時

開堂

元日、午前十一時より特別祈禱を執行。本年のお屠蘇接待はございません。

## 国難消除祈願法要

一月七日(木)

午前十一時

疫病早期収束、国難消除、ご信徒様の身体健全を祈願いたします。

法要は僧侶のみで行います、ライブ配信をご利用ください(詳しくは三面をご覧ください)

## 百味講大法要

一月二十日(水)

午前十一時

講金 一、五〇〇円也

たくさんのお供物をお供えし、僧侶の声明とともに、尊天様をご供養いたします。

法要は僧侶のみで行います、ライブ配信をご利用ください(詳しくは三面をご覧ください)

## \*大根まつりは中止となります。

## 朝まいり会

一月八日〜十四日

午前八時から八時半

会費 五〇〇円也

※事前予約制 詳しくは三面をご覧ください

## 写経の会

一月九、十日(土、日)

午前十時

会費 五〇〇円也

※事前予約制 詳しくは三面をご覧ください

## 合同大般若法要

一月二十五日(月)

午前十一時

法要料 五、〇〇〇円也

心願が成就し、より一層の御加護を頂くために、皆さんとご一緒にお上げする御礼の法要です。

法要は僧侶のみで行います、ライブ配信をご利用ください(詳しくは三面をご覧ください)

## 二月の行事

### 節分会

二月二日(火)

午前十一時

※今年は参詣の方に向けた豆まきはありません。

### 浴油講

二月二十日(土)

午前十一時

講金 一、五〇〇円也

## ご祈禱のご案内

聖天様独特の供養法である浴油供は、密教の中で最も深秘の法とされています。この供養法は聖天様のお力がより一層高められ、私どもが不可能と思われるような願い事でも、尊天様の不思議方便のお働きを得て、必ず成就させて頂けるのであります。

当山ではこの浴油祈禱を、毎朝開堂と同時に厳修しております。寺務所にて受け付けておりますので、お名前とお願いの内容、祈禱期間をお伝え下さい。またご遠方の方やお急ぎの方は、お電話やお手紙でも受け付けております。どうぞお申込みください。

皆様からのご質問、お知りになりたいことを受け付けております。ご意見やご質問は [ityou@matsuchiyama.jp](mailto:ityou@matsuchiyama.jp) までメールをお送りください。